

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	2年絵画専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	絵画講座	宮田 徹也	1単位 18時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>芸術を通じて、人間を知る。己と他者を区別して考え、他者と自己の気持ちを理解し、他者の立場になって自己を考える。人間を知るためには、人文科学、自然科学、科学に定義されていないものも学ぶ必要がある。芸術が、人間を取り巻く事物と事象のどこに位置するのかわを確認しなければならない。それを、制作に繋げる。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>宮田 徹也『芸術を愛し、求める人々へ』(論創社   2020年   ISBN978-4-8460-1895-5 C0070)の該当箇所(章を跨いだ通し番号)を予め読んで来てください。その上で考え、質問し、意見を交換する。意思が通じるコミュニケーションは、対面でもオンラインでも可能だ。レポートとは課題ではなく、自主的な答だ。予習、学習、復習は、一生、続いていく。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション。		
2	『芸術を愛し、求める人々へ』1,2,3,4章		
3	”	5,6,7章	
4	”	8章	
5	”	9章134頁まで	
6	”	9章135頁から154頁まで	
7	”	10章	
8	”	11章	
9	”	12章、13章	
10	”	14章	
11	まとめ。		
12	総括		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。          合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1970年横浜生まれ。日本近代美術思想史研究。岡倉覚三、宮川寅雄、針生一郎を経て敗戦後日本前衛美術に到達。ダンス、舞踏、音楽、デザイン、映像、文学、哲学、批評、研究、思想を交錯しながら文化の【現在】を探る。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	2年絵画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ドローイング	室井公美子 山本晶	1単位 33時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
制作を通じて多様な素材に触れ親しみながら、自身の制作の根幹となるものを発見してゆく。			
<b>【講義概要】</b>			
「ドローイング表現:新たな視点と思考を自由な素材表現で制作していく」というコンセプトをもとに、既存の技法や形式にとらわれず、自由な発想やアイデアを大切にします。手を動かしながら、自分の中に潜む新たな可能性を発見してゆきます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作指導		
3	制作指導		
4	制作指導		
5	制作指導		
6	制作指導		
7	制作指導		
8	制作指導		
9	制作指導		
10	制作指導		
11	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>室井公美子:1975年栃木県生まれ。2007年東京造形大学卒業。2009年東京造形大学大学院修了。2005年「群馬青年ビエンナーレ05」秀作賞、「第20回ホルベインスカラシップ」奨学生、2006年「VOCA展」出品、2009年「2008年度ZOKEI展・東京造形大学大学院修士論文・修了制作展」ZOKEI賞、2012年「第31回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」秀作賞、2016年「第52回神奈川県美術展」特選(準大賞)、2017年「第53回神奈川県美術展」特選(準大賞)。GALLERY MoMo所属作家。同ギャラリーにて定期的に個展。その他、グループ展多数。2014年Prosper財団「Circle of Peace」ジョージア(旧グルジア)アーティスト・イン・レジデンス。武蔵野美術大学通信教育課程、日本大学芸術学部非常勤講師。</p> <p>山本 晶:武蔵野美術大学大学院修了、文化庁国内・在外研修、ホルベインスカラシップ、主なグループ展『ART TODAY 2004』『VOCA』。主な個展 ギャラリーアエンドウ、アートフロントギャラリー、ギャラリーαMなど。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科屋間部(3年制)	2025年度	2年絵画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	造形演習	船井美佐	1単位 33時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>アーティストとして制作していく上での基礎となる力や美術の知識を学ぶ。古今東西の絵画にまつわる様式や表現の歴史について知り、さまざまな絵画様式を体験する。            絵画の遍歴や特質を知ること、美術の歴史の延長線上にある現代の自分の位置について考える。今後、自分だけの新しい表現様式を作っていくための基礎知識を培う。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>絵画について、古今東西の伝統的な様式から近現代までのあり方を比較しながら学ぶことで、現代のまだ見ぬ新しい絵画表現について考えるための手掛かりとする。毎回、レクチャーの後に、実際の画材や技法を体験しドローイングや課題を制作する。</p> <p>1、「絵の中」何をどう描くか？ ものの捉え方や構図など、対象を2次元に表す方法の様々なことについて。            2、「絵の表面」何を使って描くか？ 絵具や絵肌、支持体など物質としての絵画のあり方の変化について。            3、「絵の外側」どのように展示するか？ 作品と人と空間の関係の多様性について。            最後にそれまでの授業の制作物で空間を構成し、各自インスタレーションとして発表する</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーションとアーティストトーク、自己紹介、自分の作品について話す		
2	「イメージを形にする①」言葉とコンセプト、世界で活躍する現代アーティスト、オノヨーコ、草間彌生など		
3	「イメージを形にする②」ドローイング、現代のさまざまな絵画表現、抽象と具象		
4	「ものものとの捉え方①」水墨運筆、東洋絵画の特色、デフォルメ、構図、線と面で捉える		
5	「ものものとの捉え方②」デッサン、西洋絵画の始まり、ルネッサンス、遠近法、光と影で捉える		
6	「構図と色彩」色彩構成、近代化による絵画の変化、マネ、モネ、ゴッホ、ピカソ、マチスなど		
7	「構図と色彩」色彩構成、抽象絵画の始まり、カンディンスキー、モンドリアンなど		
8	「身体・物質・偶然性」大画面にドローイング、第二次大戦後の新しい表現、ポロック、ロスコ、具体、アンフォルメルなど		
9	「空間構成①」70年代～ポップアート、コンセプチュアルアート、ソルウィット、フランク・ステラ、リヒター、新表現主義～現代の動向まで		
10	「空間構成②」講評に向けて作品を仕上げる		
11	「空間構成③」講評会 1人ずつ壁面に構成する		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。            なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。            合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1974年生まれ 現代美術作家 筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了。線や色面、鏡を用いたインスタレーションにより現代絵画の可能性をさぐる。2009.2010年VOCA展/上野の森美術館、2017年個展/国際芸術センター青森、パブリックアートに明治大学、GINZASIXなど、その他多数。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	2年絵画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーションA	今野樹里恵	2単位 42時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>テーマに基づくイラストレーション制作を修得します。一つの世界観で一連の作品を制作すること、自分の内面を表現するだけでなく外的要因(文学)に応じて制作をすることで、既存の表現に囚われずに新しい自分だけの表現を目指します。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>文学にまつわる挿絵を連作(サイズに応じて3~5カット)で制作する。装丁や挿絵などで既存イメージができていた文学を、自分だけの表現方法で再構成すること。更に連作で制作することによって世界観を確固たるものとして表現することを学ぶ。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	テーマ発表、文庫本選びおよび挿絵箇所選択		
3	ラフスケッチ		
4	制作チェック		
5	制作		
6	制作		
7	制作チェック		
8	制作		
9	制作		
10	制作チェック		
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>1996年埼玉県川越市生まれ。2018年創形美術学校ファインアート科版画専攻卒業。個展・グループ展・企画展など多数。2018年 ACT ART大賞展 プリント部門2位。2021年第5回アワガミ国際ミニプリント展 入選。2022年MINI PRINT INTERNATIONAL OF CADAQUÉS 2022 入選(スペイン)。2023年IAG AWARD 2023 栗原画廊賞。銅版画家、作家。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	2年絵画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	混合技法	熊谷宗一	2単位 66時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法である油彩とテンペラによる混合技法を修得することを目的とする。			
<b>【講義概要】</b>			
有色下地を施したキャンバスにエマルジョンテンペラと油彩の積層からなる描画により、視覚的リアリズムを追求する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	授業準備／図版選定	17	油彩グレース／油彩描写
2	オリエンテーション、地塗り／図版選定	18	油彩グレース／油彩描写
3	トレース／墨入れ	19	油彩グレース／油彩描写
4	墨入れ／有色下地塗布	20	混合白によるハイライト
5	エマルジョンテンペラによる白色浮出	21	油彩グレース／油彩描写
6	エマルジョンテンペラによる白色浮出	22	講評／片付け
7	エマルジョンテンペラによる白色浮出		
8	油彩グレース／白色浮出		
9	油彩グレース／白色浮出		
10	油彩グレース／白色浮出		
11	油彩グレース／白色浮出		
12	油彩グレース／白色浮出		
13	油彩グレース		
14	油彩グレース／油彩描写		
15	油彩グレース／油彩描写		
16	油彩グレース／油彩描写		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1962年神奈川県生まれ。1986年東京芸術大学美術学部絵画科油画専攻卒業「O氏記念賞」受賞。1988年同大学大学院修士課程修了。1990年ウィーン応用美術大学入学(オーストリア政府給費留学生)。1997年同大学卒業 芸術修士習得。ウィーンやブラチスラバなど国内外で個展、グループ展など多数。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科屋間部(3年制)	2025年度	2年絵画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	銅版画	馬場知子	2単位 48時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
銅版画の制作プロセスを修得し、作品を完成させます。銅版画には様々な技法がありますが、エッチングを中心に物質の変容と結びついた腐食技法の多様な表現に触れます。版を媒介することで生じる他者性を柔軟に取り入れながら自分の表現の世界を広げましょう。			
<b>【講義概要】</b>			
まずテストプレートで様々なマチエール表現を試しながら「道具、薬品の使い方」「描画」「製版」「刷り」の作業工程を理解し体得していきます。本作では自分のイメージの具現化に必要な表現や技法を選択し制作します。(わからないことはなんでも聞いてください。安全に楽しく制作しましょう)			
回	授業計画及び学習の内容		
1	説明 小作品(テストプレート)制作		
2	説明 小作品制作		
3	小作品制作 本作品準備説明		
4	小作品制作 本制作準備		
5	本制作準備(エスキースを仕上げる)		
6	エスキースチェック、本制作スタート		
7	本制作 (描画、腐蝕)		
8	本制作 (描画、腐蝕)		
9	本制作 (描画、腐蝕)		
10	本制作(試し刷り)		
11	本制作(試し刷り)		
12	本制作 (加筆、刷り)		
13	本制作 (加筆、刷り)		
14	本制作 (本刷り)		
15	本制作 (本刷り)		
16	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1991年女子美術大学芸術学部絵画科版画専攻卒業。1992年同大学研究生修了。2000年文化庁芸術インターンシップ研修員。日本版画協会展(畦地梅太郎賞)、Trois-Riviere国際現代版画ビエンナーレ、文化庁現代美術選抜展、文化庁買上優秀美術作品披露展、高知国際版画トリエンナーレ(優秀賞)、(社)日本版画協会会員。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	2年絵画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画の空間	山本晶	2単位 81時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
モチーフを描く時には必ずその周りの空間こそ描かないと絵は成立しません。遠近法の発見、カメラの誕生、美術館の登場など、その時代の作品と技術革新の関係を理解し、自分自身の絵画の空間を探ります。			
<b>【講義概要】</b>			
「絵に描いた餅」という言葉を聞いたことがありますか？ 描かれた餅は食べられません。持つこともできません。ただ、自分が絵の中に入ったら食べられます。熱い餅も気にせず持つことができます。このように絵画には独特な空間があります。昔の作品から現在の作品まで、アーティストやクリエイターはどんな空間を作り出しているのか研究し、作品を作って実践します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	制作指導
2	目黒区美術館鑑賞	19	制作指導
3	制作指導(空間制作)	20	制作指導
4	制作指導(空間制作)	21	制作指導
5	制作指導(空間制作)	22	制作指導
6	制作指導(空間制作)	23	制作指導
7	制作指導(空間制作)	24	制作指導
8	制作指導(空間制作)	25	制作指導
9	制作指導	26	制作指導
10	制作指導	27	講評会
11	制作指導		
12	制作指導		
13	制作指導		
14	制作指導		
15	制作指導		
16	制作指導		
17	制作指導		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
武蔵野美術大学大学院修了、文化庁国内・在外研修、ホルベインスカラシッパ、主なグループ展『ART TODAY 2004』『VOCA』。主な個展 ギャラリーエアンドウ、アートフロントギャラリー、ギャラリーαMなど。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	2年絵画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画演習	室井公美子	2単位 90時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>コラージュを絵画の出発点とすることで、構成力を養い、組み合わせによる視覚効果を理解します。また、コラージュの要素を模写することで、観察力と描写力を高め、絵画表現の幅を広げることを目指します。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>各自が興味を持つ写真や印刷物を用いてコラージュ制作を行う。完成したコラージュを基に、キャンバスにアクリル絵具や油絵具などで着彩し、色彩の調和や対比、画面における要素の疎密などを考慮しながら構成を深めていく。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	タブロー制作
2	コラージュ制作	19	中間講評
3	コラージュ制作	20	制作指導
4	コラージュ制作	21	制作指導
5	コラージュ制作	22	制作指導
6	コラージュ制作	23	制作指導
7	コラージュ制作	24	制作指導
8	コラージュ制作	25	制作指導
9	コラージュ制作	26	制作指導
10	中間講評	27	制作指導
11	タブロー制作	28	制作指導
12	タブロー制作	29	制作指導
13	タブロー制作	30	講評会
14	タブロー制作		
15	タブロー制作		
16	タブロー制作		
17	タブロー制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>室井公美子:1975年栃木県生まれ。2007年東京造形大学卒業。2009年東京造形大学大学院修了。2005年「群馬青年ビエンナーレ05」秀作賞、「第20回ホルベインスカラシップ」奨学生、2006年「VOCA展」出品、2009年「2008年度ZOKEI展・東京造形大学大学院修士論文・修了制作展」ZOKEI賞、2012年「第31回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」秀作賞、2016年「第52回神奈川県美術展」特選(準大賞)、2017年「第53回神奈川県美術展」特選(準大賞)。GALLERY MoMo所属作家。同ギャラリーにて定期的に個展。その他、グループ展多数。2014年Prosper財団「Circle of Peace」ジョージア(旧グルジア)アーティスト・イン・レジデンス。武蔵野美術大学通信教育課程、日本大学芸術学部非常勤講師。 山本 晶:武蔵野美術大学大学院修了、文化庁国内・在外研修、ホルベインスカラシップ、主なグループ展『ART TODAY 2004』『VOCA』。主な個展 ギャラリーエアンドウ、アートフロントギャラリー、ギャラリーαMなど。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	2年絵画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	展示制作	室井公美子 工藤礼二郎	2単位 39時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>これまでの学びを基盤とし、取材を通して新たな視点や発想を獲得し、独自の絵画空間を創造・探求することで、自身の世界観を深化・拡張することを目指します。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>創形祭での展示を目標とし、これまでの学習で得た知識や技術を活かし、自由なテーマで絵画作品を制作します。既成概念にとらわれず、新しい表現方法や多様な画材、技法を積極的に探求・実験し、独創性豊かな作品の完成を目指すことを求めます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作		
4	展示企画発表		
5	エスキース制作		
6	タブロー制作		
7	タブロー制作		
8	タブロー制作		
9	タブロー制作		
10	制作チェック		
11	制作		
12	制作		
13	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>室井公美子:1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリーエアンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。</p>			
<p>工藤礼二郎:1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリーエアンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	2年絵画専攻 前期／後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	写真と美術	松蔭浩之	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
写真の成り立ちから、構図や光の捉え方などを享受しつつ、「写真とはなにか？」を考察し、絵画制作に活用することを目標にする。			
【講義概要】			
歴代写真家の作品を紹介し、読み解きながらの座学と、デジタルカメラの扱い方を指導しつつ、ワークショップ形式で制作を重ねる。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	写真の誕生／カメラの仕組み		
2	私の写真論1／カルティエ・ブレッソンを「読む」		
3	デジタルカメラ入門1		
4	私の写真論2／WS「モノクロ・ユニバース」		
5	デジタルカメラ入門2		
6	セルフポートレート実践／森村泰昌		
7	セルフポートレート実践／WS 講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置: 保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1965年福岡県生まれ。1988年大阪芸術大学写真学科卒業。現代美術家。写真、グラフィック、空間デザインなど多岐にわたって活動。ヴェネツィアビエンナーレ、シンガポールビエンナーレ出展。『昭和40年会』会長。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	2年絵画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	物質と絵画	伊藤泰雅	2単位 87時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>主題を明確化し、素材と手法の選択の過程で、作家としての自覚とこだわりを喚起する。物質性、絵画性の両面から制作を見直し、完成度の高い作品を1点以上制作する。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>主題について文章(言葉)と素描によりできるだけ明確にする。単色、有色の素描、コラージュによりエスキースを重ねる。支持体を選択(複数も可)し、手法を決める。物としての強度について意識しながら作品を制作する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション/デッサン	18	タブロー制作
2	デッサン	19	タブロー制作
3	デッサン	20	タブロー制作
4	デッサン/コラージュ	21	制作指導
5	デッサン/コラージュ	22	タブロー制作
6	デッサン採点/下地作り	23	タブロー制作
7	エスキース/下地作り	24	タブロー制作
8	エスキース/下地作り	25	タブロー制作
9	エスキース/下地作り	26	タブロー制作
10	エスキース/下地作り	27	タブロー制作
11	エスキース/下地作り	28	タブロー制作
12	エスキース/下地作り	29	講評会
13	エスキース採点/タブロー		
14	タブロー制作		
15	タブロー制作		
16	エスキース採点/タブロー		
17	タブロー制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。          合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>1964年静岡県生まれ。1991年東京藝術大学大学院油画技法・材料修了。絵画を制作、個展を中心に発表。2001年関口芸術基金賞展優秀賞。最近の主な活動は、2016年・2018年・2020年個展(ギャラリー檜)、2017年第2回アートオリンピア入賞、2021年「表層の冒険-抽象のパロキスム」展参加など。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	2年絵画専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	抽象絵画考	徳永陶子 工藤礼二郎	3単位 60時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
抽象絵画が難解で分かりづらい芸術であるという呪縛から解き放ち、表現手段の一選択肢として考慮できるようにする。			
<b>【講義概要】</b>			
20世紀初頭に誕生した抽象絵画という概念や形式はどのようなものなのか。またそれらは21世紀の現在においてどのように引き継がれるであろうか。概念的な思考の前にまずは抽象の様々なあり様を描くことを通して体験し、自らの表現として獲得しうるかを試みる。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	制作チェック
2	抽象絵画について	19	制作チェック
3	抽象絵画について	20	講評会
4	制作チェック		
5	エスキース制作		
6	エスキース制作		
7	エスキース制作		
8	タブロー制作		
9	タブロー制作		
10	制作チェック		
11	制作		
12	制作		
13	中間ディスカッション		
14	制作		
15	制作チェック		
16	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>徳永 陶子:1967年東京生まれ。1991年武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。1995年パリ国立高等美術学校卒業、クロード・ヴィアラに師事。平成13年度ポーラ美術振興財団在外研修助成により南仏にて研修。国内外にて個展、グループ展多数。</p> <p>工藤礼二郎:1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	2年絵画専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーションB	須田浩介	2単位 51時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>イラストレーターがクライアントワークで行うアイデア出しラフの提出などのプロセスを活かし制作に取り組みアーティストとしてもイラストレーターとしても必要なコンセプトと作品表現とを繋げる力を伸ばす。アナログ画材を使用し与えられた枠組みの中で作品を制作する上で個々の持つ個性や表現を活かしながらより魅力的な作品表現となる様に作品を描く上でのコンセプトと「何故」をよく考えながら表現に繋げ自分の表現や世界観をブランディングしていく為の授業です。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>4枚の作品を描く。描くテーマは各自で決めて良いです。自分なりに表現のフォーマットを考えてから描く。描くもののテーマ、コンセプト、発表する際のブランディングを意識する。テーマ例、四季、トランプ、方角、喜怒哀楽、etc 分かりやすいので4にまつわるものを例に出しましたが別にそこはそんなに意識しなくても良いです。自分の好きな物事などに絡めて自分の表現の枠で4枚描く。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	課題1制作		
3	課題1制作		
4	課題1制作		
5	課題1制作、講評		
6	課題2制作		
7	課題2制作		
8	課題2制作		
9	課題2制作、講評		
10	課題3制作		
11	課題3制作		
12	課題3制作		
13	課題3制作、講評		
14	課題4制作		
15	課題4制作		
16	課題4制作		
17	総合講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>イラストレーター。2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業、同年シテデザールに派遣。2008年~2013年フリーアートマガジンス発行、雑誌・装画・ポスター等の仕事を手がけ、アクリル絵の具を使ったファッション感のある人物、動物等を主に描く。跡見学園女子大学イラスト非常勤講師。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	2年絵画専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	詩と表現	田野倉康一	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
毎回、授業の最初に講師が同時代の詩を朗読、紹介するとともに、講義においては、詩に対する理解を深めることにより、ファインアート、デザインの実践に、言葉の側面から寄与したい。また、その目的において、詩の実技指導も行う。			
【講義概要】			
受講者がそれぞれに詩に触れ、受容し、詩作することを通して、他人の言葉に左右されることなく、ファインアートやデザインの実践の中で言葉とうまく付き合っていけるようになること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	詩とはなにか。あるいは詩の現在について		
3	詩と美術・詩とデザイン		
4	詩の作り方・実技指導		
5	実技指導		
6	実技指導		
7	講評会		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1960年生まれ。明治大学文学部文学科フランス文学専攻卒、2002年第13回歷程新鋭賞受賞、現代詩文庫『田野倉康一詩集』をはじめ、単行詩集5冊、共著4冊、編書1冊のほか、山田正亮展(東京国立近代美術館)、イケムラレイコ展(ヴァンジ彫刻庭園美術館)など展覧会のカタログテキストの執筆多数。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	2年絵画専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画と物語	山口 藍	3単位 102時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>支持体と描画の関係性            平面絵画において、特に支持体が作品の内容にもたらす影響を改めて考え、実際の制作を通して描画との相互の関係性を探る。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>描こうとする題材(テーマ)を任意の物語や散文などの一場面に設定し、それを絵画作品として表現するために最も適した支持体を選び(あるいは作り)制作する。作品を構成するあらゆる要素に意味を持たせたり、それを伝えたりできると意識することで、作品制作において色々な角度から思考し掘り下げていくことにつなげていく。            ※キャンバス以外にも、あらゆる物に支持体の可能性を探ってみること。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	制作
2	制作	19	制作
3	制作	20	制作チェック
4	制作チェック	21	制作
5	制作	22	制作
6	制作	23	制作
7	制作チェック	24	制作チェック
8	制作	25	制作
9	制作	26	制作
10	制作チェック	27	制作
11	制作	28	制作
12	制作	29	制作チェック
13	制作チェック	30	制作
14	制作	31	制作
15	制作	32	制作
16	制作チェック	33	制作
17	制作	~35	講評会
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。            なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。            合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1977年東京都生まれ。現代美術作家。日本の伝統美術、特に江戸時代の風俗や文化にインスパイアされながらパネルを毛布と綿布でくるんだ『ふとんキャンバス』など、独自の支持体を用いて新たな美人画を制作している。国内のみならず海外での活動も多数。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	2年絵画専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	取材と制作	室井公美子	2単位 45時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

収集した多様な要素と、取材を通して得られた洞察に基づき、作品の核となる独自のコンセプトを明確に確立して行きます。また、その過程で制作ノートを効果的に活用し、思考を深化させながら作品の方向性を具体的に構想することを目的とします。

## 【講義概要】

作品制作に向け、各自が関心を持つ事柄やテーマに関連する写真、スケッチ、メモなどの要素を収集し、アイデアやイメージを記録した制作ノートを作成します。並行して、作品のコンセプトを具体化・深化させるため、美術館鑑賞、観察、資料調査、インタビューなどの取材活動を行い、そこで得られた情報や考察を制作ノートに記録することで、作品の核となるコンセプトを明確にしてゆきます。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション
2	素材収集
3	アイデアスケッチ制作
4	アイデアスケッチ制作
5	美術館鑑賞
6	制作ノート
7	制作ノート
8	制作ノートチェック
9	タブロー制作
10	タブロー制作
11	タブロー制作
12	タブロー制作
13	タブロー制作
14	タブロー制作
15	講評会

## 【成績評価方法】

課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。  
なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。  
合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留

## 【授業の特徴・形式と教員紹介】

実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。

室井公美子:1975年栃木県生まれ。2007年東京造形大学卒業。2009年東京造形大学大学院修了。2005年「群馬青年ビエンナーレ05」秀作賞、「第20回ホルベインスカラシップ」奨学生、2006年「VOCA展」出品、2009年「2008年度ZOKEI展・東京造形大学大学院修士論文・修了制作展」ZOKEI賞、2012年「第31回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」秀作賞、2016年「第52回神奈川県美術展」特選(準大賞)、2017年「第53回神奈川県美術展」特選(準大賞)。GALLERY MoMo所属作家。同ギャラリーにて定期的に個展。その他、グループ展多数。2014年Prosper財団「Circle of Peace」ジョージア(旧グルジア)アーティスト・イン・レジデンス。武蔵野美術大学通信教育課程、日本大学芸術学部非常勤講師。  
山本 晶:武蔵野美術大学大学院修了、文化庁国内・在外研修、ホルベインスカラシップ、主なグループ展『ART TODAY 2004』『VOCA』。主な個展 ギャラリーエアンドウ、アートフロントギャラリー、ギャラリーαMなど。

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	2年絵画専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	主題研究	山口 藍 山本 晶 室井公美子 工藤礼二郎	7単位 219時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
2年次の授業を総合的に判断し、また新たなアートシーンにも触れながら3年次へ向けた自らの主題を探る。			
<b>【講義概要】</b>			
作家研究(表現方法・素材)を通して30号の制作に取り組む。同時にモノトーンでの細密な描写に取り組み、色調(グラデーション)について一層理解を深め、2年間の観察/表現の成果を実感する。			
<b>授業計画及び学習の内容</b>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	作家研究/オリエンテーション	18	作品制作
2	作品制作、作家研究	19	中間講評
3	作品制作、作家研究	20	作品制作、個別指導
4	作品制作、ステイトメント制作	~30	作品制作、個別指導
5	作品制作、ステイトメント制作	~40	作品制作
6	作品制作	~50	作品制作
7	作品制作	~60	作品制作
8	作品制作、ポートフォリオ制作	~70	作品制作
9	作品制作、ポートフォリオ制作	~73	講評会
10	作品制作		
11	作品制作		
12	作品制作、個別指導		
13	作品制作、個別指導		
14	作品制作		
15	作品制作		
16	作品制作		
17	作品制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
山口 藍:1977年東京都生まれ。現代美術作家。日本の伝統美術、特に江戸時代の風俗や文化にインスパイアされながらパネルを毛布と綿布でくるんだ『ふとんキャンバス』など、独自の支持体を用いて新たな美人画を制作している。国内のみならず海外での活動も多数。			
山本 晶:武蔵野美術大学大学院修了、文化庁国内・在外研修、ホルベインスカラシッパ、主なグループ展『ART TODAY 2004』『VOCA』。主な個展 ギャラリーエアンドウ、アートフロントギャラリー、ギャラリーαMなど。			
室井公美子:1975年栃木県生まれ。2007年東京造形大学卒業。2009年東京造形大学大学院修了。2005年「群馬青年ビエンナーレ05」秀作賞、「第20回ホルベインスカラシッパ」奨学生、2006年「VOCA展」出品、2009年「2008年度ZOKEI展」東京造形大学大学院修士論文・修了制作展「ZOKEI賞」、2012年「第31回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」秀作賞、2016年「第52回神奈川県美術展」特選(準大賞)、2017年「第53回神奈川県美術展」特選(準大賞)。GALLERY MoMo所属作家。同ギャラリーにて定期的に個展、その他、グループ展多数、2014年Prosper財団「Circle of Peace」ジョージア(旧グルジア)アーティスト・イン・レジデンス。武蔵野美術大学通信教育課程、日本大学芸術学部非常勤講師。			
工藤 礼二郎:1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリーエアンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。			